

総研大文化科学研究所

Sokendai Review of Cultural and Social Studies

-
- ### 論 文
- 民俗芸能の継承と伝承組織の変容
—比婆荒神神楽を支える「名」に注目して— 鈴木 昂太 1
- 藤原定家『下官集』伝本の研究（一）
—模刻本・国文学研究資料館蔵『定家卿書式』を中心に— 吉田紀恵子 29
- シンボル、実践、関係—祖先祭祀から見る
モンの親族研究の3つの視座 今井 彰暁 77
- 『方丈記』の受容
—夏目漱石の『英訳方丈記』をめぐって— ゴウランガ チャラン プラダン 99
- 茨城県太平洋岸における中世の海村について
—製塩主体の海村の一類型— 永越 信吾 113
- 四国東部における灌漑水田農耕の受容期の年代について
—炭素14年代法を用いた地域事例— 近藤 玲 149

研究ノート

- 新疆オイラド・モンゴル社会における活仏信仰の位置づけ
—シャリワン・ゲゲンの仏教寺院の事例から— ナムジャウ 195
- チベット・アムド地域における人生儀礼の変化に関する考察
—ワオッコル村の事例から— チョルテンジャブ 211
- 台湾における災害展示と民族アイデンティティとの関係 呂 怡屏 239
- IPR（太平洋問題調査会）とアメリカの日本研究 南 直子 257
- 森鷗外における大逆事件と陽明学
—井上哲次郎との比較による— 山村 獨 265

第13号 | 平成29年3月